

楽天証券で投資を学ぼう！

 **日経225ミニ先物の  
仕組みがわかるウェブセミナー**

株と日経225先物の違いは？

- ✓ 株式投資と先物投資を比べて基本の仕組みをマスター

講師：土信田雅之（楽天証券経済研究所）

## ご注意事項

本資料は、セミナーの為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

# 株と日経225先物の違いは？

比較	株(現物)	株価指数先物
取引時間	(前場)9:00~11:30 (後場)12:30~15:00	(日中)8:45~15:15 (夜間)16:30~翌5:30
取引の期間	(実質)無期限	取引に期限がある
呼値(よびね)の単位	0.1円・0.5円・1円・5円・10円などの単位で変動する(株価の価格帯によって異なる)	日経225ミニは5円単位 日経225ラージは10円単位で変動する
1取引の最低単位	企業ごとに異なるが、主に100株や1,000株が最低取引単位で1単位と呼ぶ。	日経225ミニは日経225指数の100倍が最低取引単位で1枚と呼ぶ。(ラージは1,000倍)
取引に必要な資金	その企業の株価×株数	SPAN証拠金で定められている (日経225ミニなら75,000円/枚:3月時点)
取引開始(新規)	買い	買い
取引終了(決済)	売り	売り
取引口座	証券総合口座	先物・オプション口座



# 取引の対象は？

比較	株(現物)	株価指数先物
取引の対象	個別企業	株価指数(日経平均など)
たとえば	トヨタやソニー、みずほ銀行など、東証1部・2部・マザーズやJASDAQなど各市場の合計3,500社超の中から個別に選んで投資。	日経225先物。東証1部に上場する日本を代表する225社の平均指数だから日本経済全体に投資するイメージ。
変動要因	各企業の決算やIR情報などで上げ下げ。	日本(世界)経済全体の動き。特に、日経平均価格は常にテレビや新聞等で報道されており馴染みやすい(親しみやすい)
破綻リスクは？	あり。倒産すると株価はゼロになることも。	構成銘柄の1社が破綻しても影響度合いは小さい。株価指数がゼロになることはない。
おまけ	株主優待や配当がある企業もある。	株主優待や配当はない。



# 取引時間は？



区分	取引時間	
	日中立会	夜間立会
プレ・オープニング (寄前注文受付)	8:00-8:45	16:15-16:30
オープニング(寄付き)	8:45	16:30
ザラバ	8:45-15:10	16:30-翌5:25
プレ・クロージング (引前注文受付)	15:10-15:15	翌5:25-5:30
クロージング(大引け)	15:15	翌5:30



帰宅後にじっくり取引する  
投資家が増える時間帯



米国の経済指標等の発表  
時間帯で値動きが大きく  
なる時間帯

# 取引の期間は？

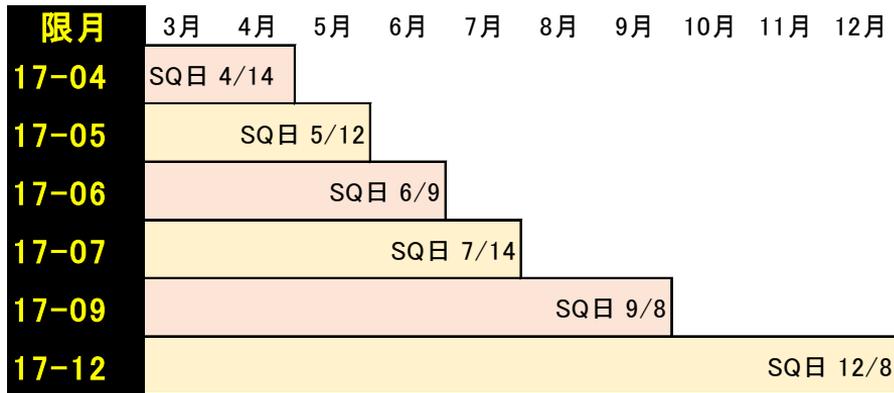
## ■ 限月(げんげつ)・・・取引の期限を表す月

<マーケットスピードの先物OP市況情報画面>

銘柄	限月	市場	現在値	前日比	前日比率	出来高	建玉
日経225	-	-	19,590.14	+12.76	+0.07%	-	-
日経225 ㊦ニ	17-04	大阪	19,480	+35	+0.18%	5,069	49,600
日経225 ㊦ニ	17-05	大阪	19,480	+45	+0.23%	09	1,705
日経225 ㊦ニ	17-06	大阪	19,480	+40	+0.21%	77,203	278,493
日経225 ㊦ニ	17-07	大阪	19,445	+5	+0.03%	39	258
日経225 ㊦ニ	17-09	大阪	19,435	+35	+0.18%	391	4,140
日経225 ㊦ニ	17-12	大阪	19,315	+40	+0.21%	64	1,866
日経225 ㊦ニ	18-03	大阪	19,260	+35	+0.18%	16	826
日経225 ㊦ニ	18-06	大阪	19,110	+15	+0.08%	6	824
日経225 ㊦ニ	18-09	大阪	-	-	-	0	4
日経225 ㊦ニ	18-12	大阪	18,940	+20	+0.11%	2	241
日経225 ㊦ニ	19-06	大阪	-	-	-	0	199
日経225 ㊦ニ	19-12	大阪	-	-	-	0	99
日経225 ㊦ニ	20-06	大阪	-	-	-	0	79
日経225 ㊦ニ	20-12	大阪	-	-	-	0	34
日経225 ㊦ニ	21-06	大阪	-	-	-	0	158
日経225 ㊦ニ	21-12	大阪	-	-	-	0	3

<限月ごとの取引期間の具体例>

限月のSQ日(最終決済日)の前日が取引最終日



- ✓ SQ日(最終決済日)の前日まではいつでも売買できる
- ✓ SQ日を迎えると強制的に決済される
- ✓ 取引するのは3月・6月・9月・12月のメジャー限月がお勧め(取引が活発です。)
- ✓ 取引期間が5年もある長期投資も可能

# 取引の単位と必要な資金は？

比較	株(現物)	株価指数先物
取引の単位	企業ごとに異なるが、主に100株や1,000株が最低取引単位で1単位と呼ぶ。	日経225ミニは日経225指数の100倍が最低取引単位で1枚と呼ぶ。(ラージは1,000倍)
取引に必要な資金	その企業の株価×株数	SPAN証拠金で定められている
たとえば	日産自動車は100株 東京急行電鉄は1,000株	日経225ミニは日経平均の100倍 日経225ラージは日経平均の1,000倍
2017年3月22日現在では取引するのにいくら必要か？	日産(1単位) $1115.0円 \times 100株 = 111,500円$ 東急(1単位) $810円 \times 1,000株 = 810,000円$	日経225ミニ(1枚) 75,000円 日経225ラージ(1枚) 750,000円
取引総代金	日産(1単位) $1115.0円 \times 100株 = 111,500円$ 東急(1単位) $810円 \times 1,000株 = 810,000円$	日経225ミニ $18,910円 \times 100倍 = 1,891,000円$ 日経225ラージ $18,910円 \times 1,000倍 = 18,910,000円$
レバレッジ	1倍	約25倍

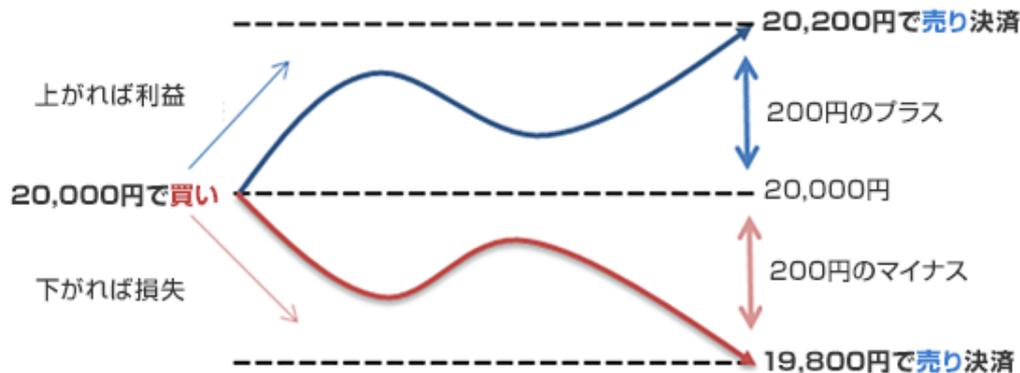
# 損益の計算例（買いからスタート）

■ 日経225ミニを1枚新規に**買い**で取引開始した際の損益計算例

日経225ミニ  
1枚あたりの証拠金は75,000円  
(2017年3月時点)

【1枚あたりの利益】

値動き 取引単位 売買枚数  
200円 × 100倍 × 1枚  
= プラス20,000円



● マメ知識

先物取引は買いでも売りでも金利や貸株料は一切かからず、かつ1日に何度も回転売買ができるのも特徴です。

【1枚あたりの損失】

値動き 取引単位 売買枚数  
-200円 × 100倍 × 1枚  
= マイナス20,000円

# 損益の計算例（売りからスタート）

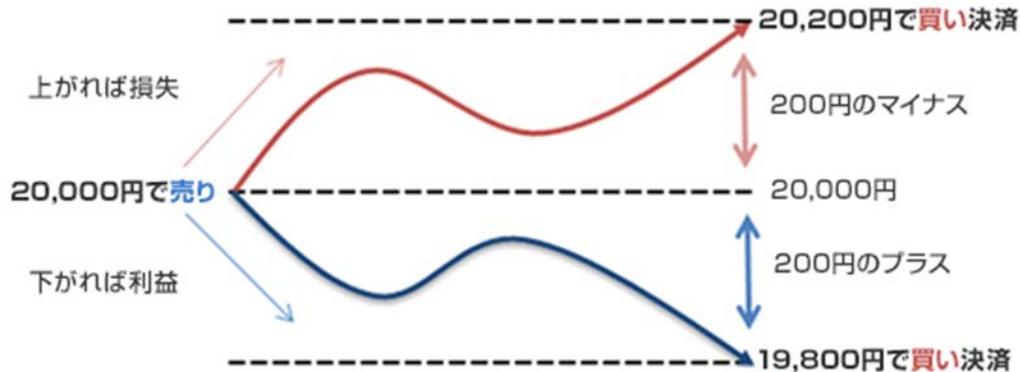
■ 日経225ミニを1枚新規に**売り**で取引開始した際の損益計算例

日経225ミニ

1枚あたりの証拠金は75,000円  
(2017年3月時点)

【1枚あたりの損失】

値動き 取引単位 売買枚数  
-200円 × 100倍 × 1枚  
=マイナス20,000円



● マメ知識

下がると予想した時は、売りからスタートできるのもポイントです。一般的に上げ相場はゆっくりですが、下げ相場は早いといわれます。

【1枚あたりの利益】

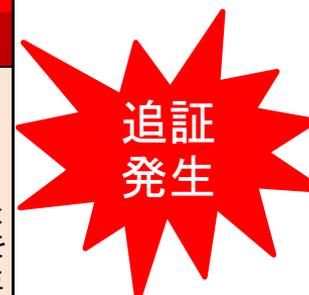
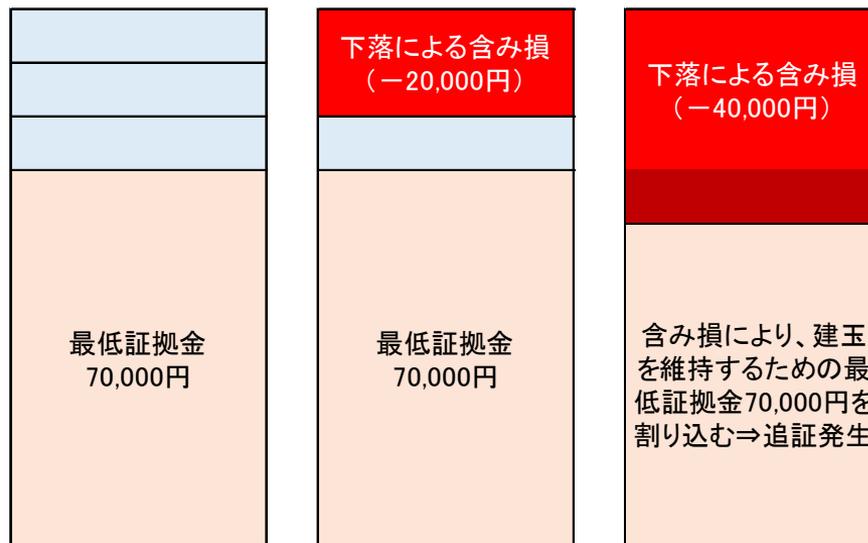
値動き 取引単位 売買枚数  
200円 × 100倍 × 1枚  
=プラス20,000円

# 追証（おいしょう）制度とは？

	先物オプション口座	⇒	先物オプション口座	⇒	先物オプション口座	⇒	先物オプション口座
取引状況	証拠金へ10万円振替		日経225ミニ1枚買い		日経225が200円下落		日経225が400円下落
日経225ミニ価格			19,000円		18,800円		18,600円
差損益			0円		-20,000円		-40,000円

万円  
10  
9  
8  
7  
6  
5  
4  
3  
2  
1

先物口座状況



対処法は次へ

口座状況				
受入証拠金	100,000円	100,000円	80,000円	60,000円
最低証拠金	0円	70,000円	70,000円	70,000円
追証余裕額	100,000円	30,000円	10,000円	-10,000円

# 追証が発生した時の対処法は？

①取引を続ける

✓翌営業日正午までに追証請求額を入金(振替)する

②取引をやめる

✓翌営業日正午までに全建玉の決済注文を出して取引終了

※お客様側で翌営業日正午まで①②どちらも未対処の場合は、当社にて全建玉の決済注文を発注させていただきます。(強制決済)

取引開始時にあらかじめ損失限度額を決めるなど、  
資金に余裕を持って取引を行いましょう！

# 金融商品取引法にかかるリスクと費用等のご説明

## 【株価指数先物取引にかかるリスク】

株価指数先物・オプションの価格は、対象とする株価指数の変動等により上下しますので、これにより損失が生じるおそれがあります。また、株価指数先物取引は、少額の証拠金で当該証拠金の額を上回る額の取引をおこなうことができ、大きな損失が発生する可能性があります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。株価指数オプション取引はオプションを行使できる期間には制限があります。また、株価指数オプションの市場価格は、現実の株価指数の変動等に連動するとは限りません。価格の変動率は現実の株価指数の変動率に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失が発生する可能性があります。

## 【株価指数オプション取引における買方特有のリスク】

株価指数オプションは期限商品であり、買方が期日までに権利行使または転売をおこなわない場合には権利は消滅し、買方は投資資金の全額を失うこととなります。

## 【株価指数オプション取引における売方特有のリスク】

売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、売方は、株価指数オプション取引が成立したときは、証拠金を差し入れまたは預託しなければなりません。その後、相場の変動により証拠金の額に不足額が発生した場合には、証拠金の追加差入れまたは追加預託が必要となります。所定の期限までに不足額を差し入れない場合等には、建玉の一部または全部を決済・処分させていただく場合もあります。この場合、その決済で生じた実現損失について責任を負う必要があります。売方は、権利行使の割当てを受けた際には必ずこれに応じる義務があり、権利行使価格と最終清算指数(SQ値)の差額を支払う必要があります。

## 【株価指数先物取引にかかる費用】

株価指数先物取引の委託手数料は、278円(税込:300.24円)/1枚がかかります。日経225ミニ取引の委託手数料は、38円(税込:41.04円)/1枚がかかります。

## 【株価指数オプション取引にかかる費用】

株価指数オプション取引委託手数料:売買代金の売買代金の0.18%(税込:0.1944%)※ただし最低手数料:180円(税込:194.4円)がかかります。

## 【委託証拠金等について】

株価指数先物・オプション取引をおこなうには、委託証拠金の差し入れが必要です。必要委託証拠金はSPAN(シカゴマーカンタイル取引所が開発した証拠金計算方法)によって計算され、

「(SPAN証拠金額×当社が定める証拠金掛目)-ネット・オプション価値総額+先物両建て証拠金」となります。※先物両建て証拠金=(建玉枚数-ネットデルタの絶対値)×0.5×日経225先

物取引1枚あたりのSPAN証拠金×当社が定める証拠金掛目※日経225ミニ取引は、日経225先物取引の1/10の証拠金でお取引が可能です。

商号等：楽天証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会